

2008年3月28日

株式会社みずほコーポレート銀行
日本政策投資銀行
株式会社三菱東京UFJ銀行

東京国際空港国際線地区旅客ターミナルビル等整備・運営事業に対する プロジェクトファイナンスの組成について

株式会社みずほコーポレート銀行、日本政策投資銀行、株式会社三菱東京UFJ銀行の3行は、国が実施するPFI事業である「東京国際空港国際線地区旅客ターミナルビル等整備・運営事業」（以下「本事業」）向けプロジェクトファイナンスのリードアレンジャー（主幹事）として、総額約900億円の協調融資（シンジケートローン）を組成し、「東京国際空港ターミナル株式会社」（以下「事業者」）と2008年3月27日に融資契約を締結いたしました。国の基幹交通インフラをPFIで整備する初めてのケースとなります。

協調融資には、リードアレンジャー3行他、国内外の17金融機関（詳細は別紙【ご参考】ご参照）が参加し、株式会社みずほコーポレート銀行がエージェント（事務幹事）を務めます。

事業者は、日本空港ビルデング株式会社が代表企業となり、株式会社日本航空、全日本空輸株式会社、成田国際空港株式会社、東京電力株式会社、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ、セコム株式会社、東京瓦斯株式会社、京浜急行電鉄株式会社、東京モノレール株式会社、日本政策投資銀行、みずほコーポレート銀行、三菱東京UFJ銀行の13社にて出資・設立した会社です。

東京国際空港（以下「羽田空港」）においては、国による再拡張事業の一環として、国際旅客便及び国際貨物便就航のため国際線地区が3つのPFI事業にて整備されることとなっております。本事業は、国際線旅客ターミナルビル、空港利用者用駐車場等の設計・施工監理・運営・維持管理を、国からのサービス対価等の支払に依らず、独立採算型のPFI事業として行うものです。

リードアレンジャー3行は、これまでPFI事業向け融資に積極的に取り組み、多数の実績を有しております。羽田空港という国の交通基幹インフラの一翼を担う本事業におきましても、その重要性を十分に認識し、これまでの取り組みを通じて培ったノウハウを活かし、航空需要、商業需要等の変動に対して、弾力的なファイナンススキームを構築することによって、着工から30年間の長期間にわたる本事業の推進を、ファイナンス面からサポートして参ります。

以上

【ご参考】

1. 事業概要

事業名	東京国際空港国際線地区旅客ターミナルビル等整備・運営事業		
発注者	国土交通省（東京航空局）		
事業方式	事業期間中、事業者が、対象施設を所有し、維持管理・運営を行い、事業期間終了時に、国又は国が指定する第三者が事業者から対象施設を買い取ることでできる方式		
事業期間（予定）	2008年5月～2038年4月（着工から30年間）		
事業場所	東京都大田区羽田空港二丁目		
敷地面積	約130,000㎡		
対象施設	国際線旅客ターミナルビル	延床面積	約159,000㎡
		階層	5階建て
		固定スポット数	10スポット（オープンスポット 10）
	空港利用者用駐車場	延床面積	約67,000㎡
		階層	6層7階建て
		収容台数	約2,300台
	その他対象施設	連絡通路、カーブサイド歩道、従業員用駐車場および付帯施設	

2. 参加融資金融機関

株式会社みずほコーポレート銀行	リードアレンジャー
日本政策投資銀行	
株式会社三菱東京UFJ銀行	
信金中央金庫	アレンジャー
株式会社横浜銀行	
株式会社三井住友銀行	コ・アレンジャー
デプファ・バンク・ピーエルシー（銀行）東京支店	
株式会社山陰合同銀行	
住友信託銀行株式会社	
デクシア クレディ ローカル銀行 東京支店	
みずほ信託銀行株式会社	
株式会社伊予銀行	
株式会社損害保険ジャパン	
株式会社千葉銀行	
東京海上日動火災保険株式会社	
株式会社福岡銀行	
株式会社りそな銀行	

以上